

CUC公開講座「新しい総合政策学を考える」

総合政策学への期待

－ 経済と政策情報の相乗効果 －

2024年5月31日(金)

青山学院大学教授 中村まづる

バブル後の日本経済(1990年代～)

- ▶ 経済の長期低迷・人口減少社会の到来
- ▶ 情報化の進展・グローバル経済・持続可能性 …

Sustainability

30数年ぶりの動き

- ▶ 株価史上最高値
- ▶ 春闘大幅賃上げ
- ▶ マイナス金利解除
- ▶ 円安

2025年の意義

- ▶ 気候変動 → SDGs
- ▶ 財政健全化・社会保障
- ▶ 人口減少・労働力不足
- ▶ 国際的地位低下

経済学の視点

経済政策
の課題

社会科学の
学際的发展

総合政策学
への期待

世界平均気温(年平均)の変化

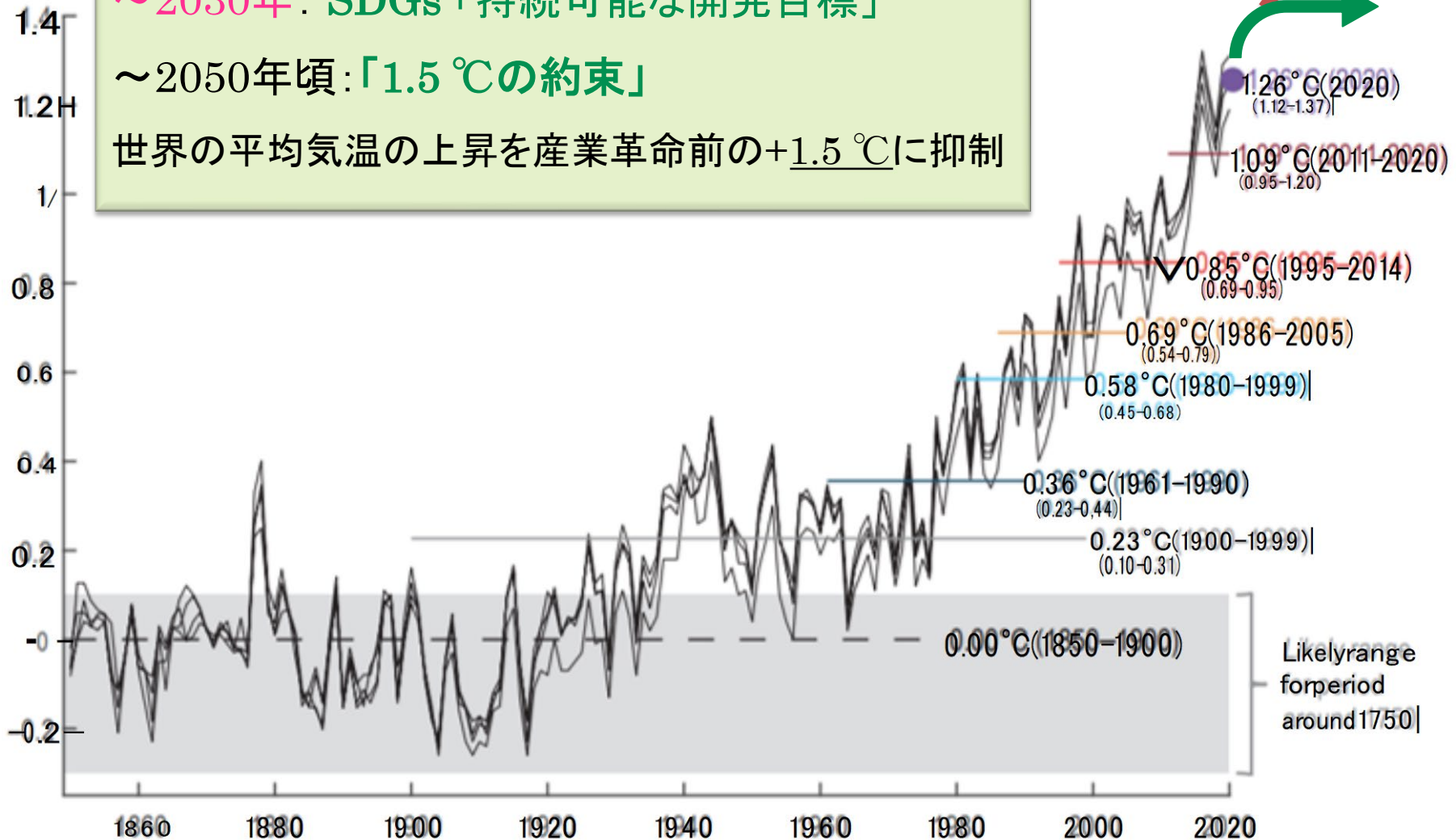
JAXA, "Earth care" (2024)

気候変動枠組条約締約国会議: **パリ協定(2015)**

~2030年: **SDGs「持続可能な開発目標」**

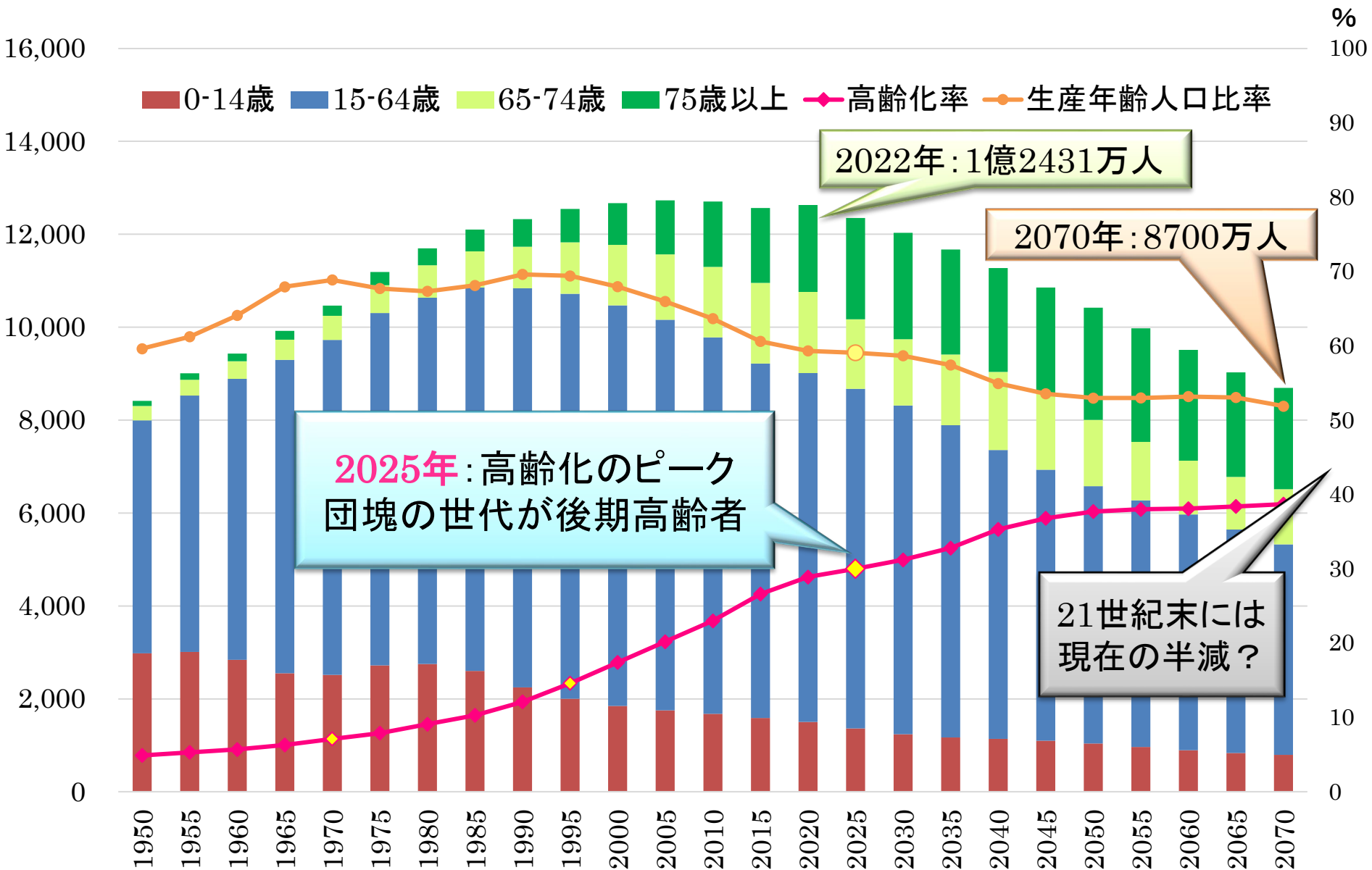
~2050年頃: **「1.5 °Cの約束」**

世界の平均気温の上昇を産業革命前の+1.5 °Cに抑制



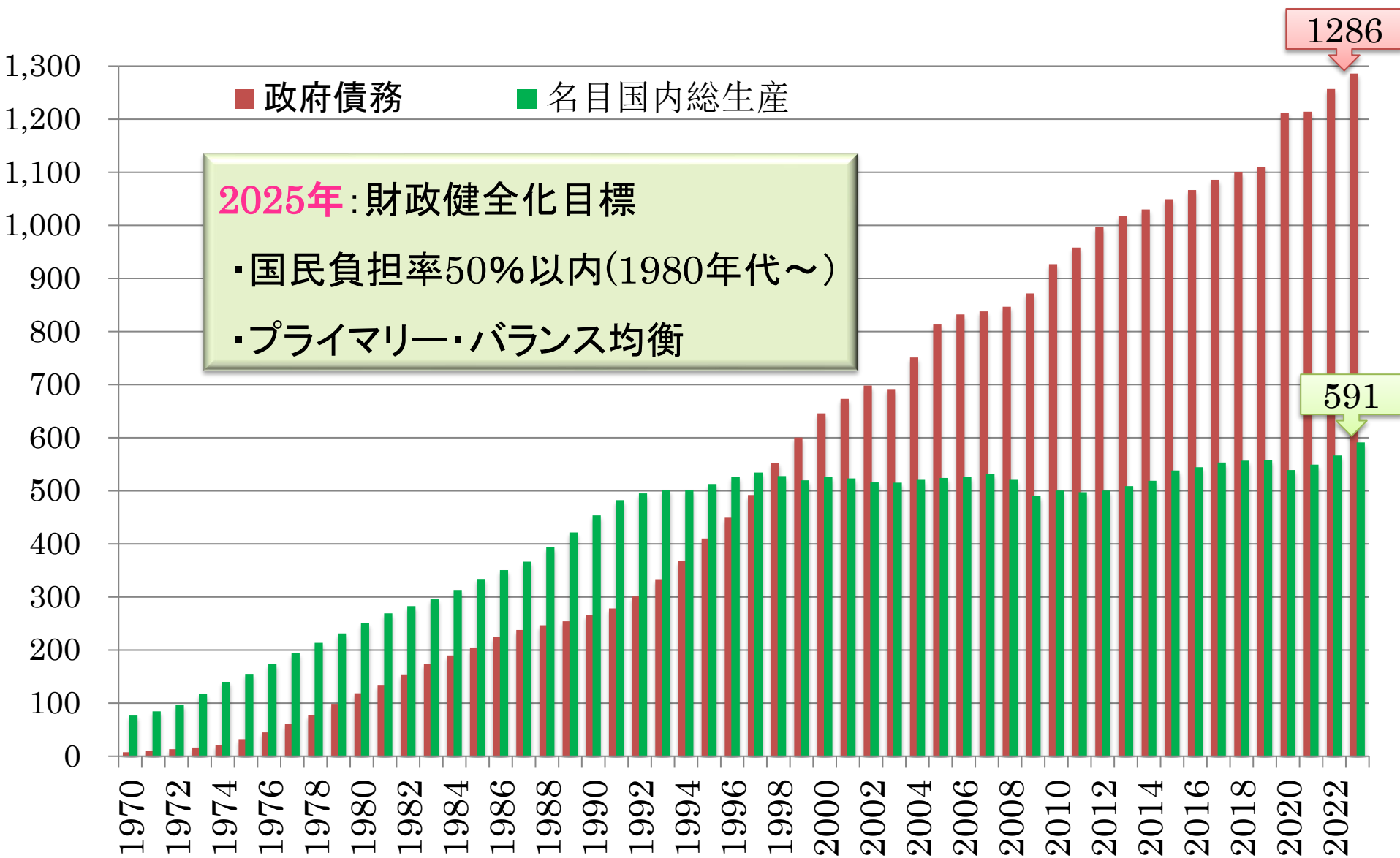
総人口の動態変化(万人)

国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計(2023年)」



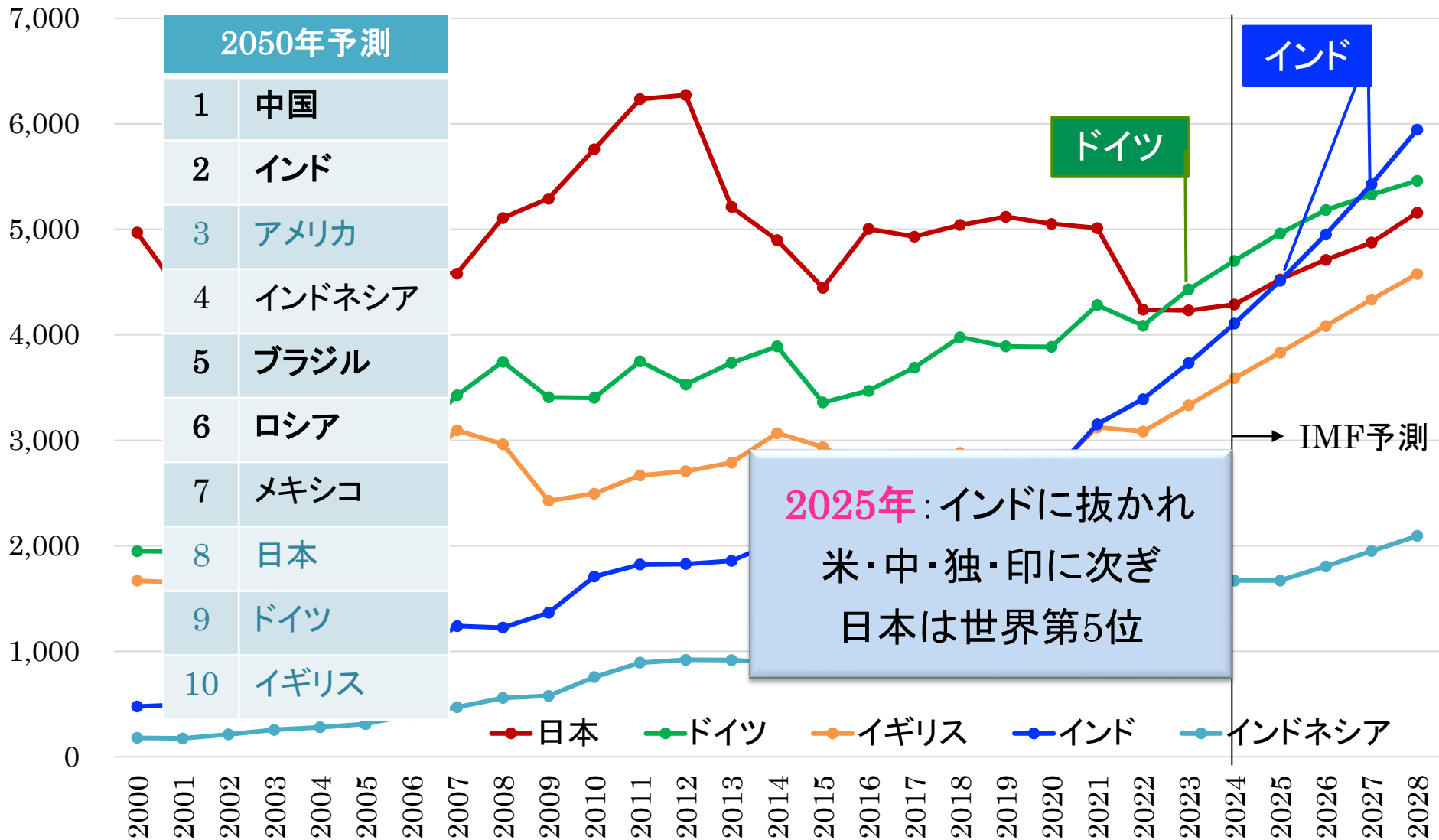
政府債務残高(兆円)

財務省「国債・借入金および政府保証債務」(2023年12月末)



名目GDPの推移（単位：米ドル）

IMF World Economic Outlook (April. 2024)



- 1990～：冷戦構造の終焉
 - ▶ 日本：バブル崩壊・55年体制の終焉
 - ▶ アメリカ：湾岸戦争・キリスト教 vs. イスラム
 - ▶ ヨーロッパ：東西統合・EU誕生
- 2000年代～ 9.11・・・リーマンショック
 - 市場の暴走・格差拡大 → 適切な規制・国際協調

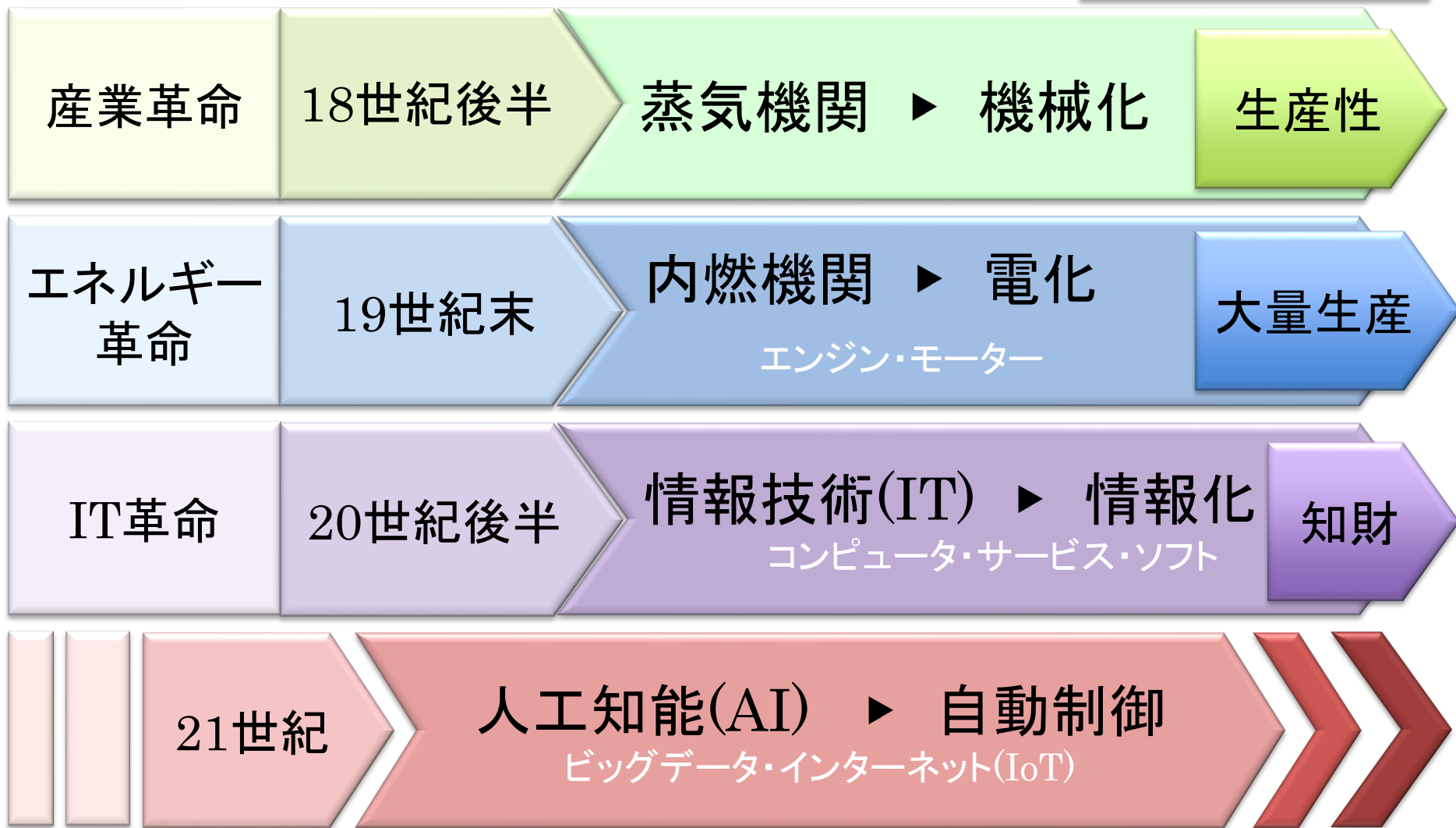
📌 コロナ禍・・・ウクライナ・パレスチナ問題・・・

- ▶ 自国第一主義：Brexit・トランプ主義
- ▶ 安全保障：サプライチェーン強化・経済のブロック化
- ▶ 新興工業国の発展 → 世界秩序の再編？

第四次産業革命(Industry 4.0)

(狩猟社会→農耕社会→工業社会→情報社会→Society 5.0)

Information



9 社会はどのように変わるのか？

📌 技術的転換点(シンギュラリティ) → 2040年代？
AIに代替されていく職業／代替されない職業

📌 Frey & Osborn(2013)

10～20年間に自動化される職業

702業種・47% / 2050年頃には80%以上との推計も

📌 不確実な将来を見通す力を養うために

- ・「生き残る力」とは「変化に適応」できる能力
- ・制約条件のもとでの最適化行動
- ・マクシミン原理(最悪の場合を想定し利得の最大化戦略)

経済学の
知見

- 📌 「オイコスノモス(家政術)」:生活を良くするための方法
- 📌 「経世済民」:世を経(おさ)め、民を済(すく)う

- “**Politicaeconomy**” 「政治経済」

- 18世紀末～ 産業革命に伴う社会問題

- “**Economics**” 「経済学」

- 19世紀末～ 科学としての発展・専門化

Trust ?

- 価値判断排除 → 客観性・合理性の前提 → モデル構築

- 資源配分(input)の効率 → 経済成長

✓ 所得分配(output)の公平 → 社会正義 → 格差問題解決？

経済理論
ミクロ経済学
マクロ経済学

計量経済学

時間軸の広がり

経済史

空間軸の広がり

国際経済学
開発経済学
国際金融論
各国経済・・・

応用分野・経済政策

財政学・金融論
労働経済学・公共経済学
環境経済学 etc.・・・

公共部門

- 1950～60年代：高度経済成長時代
 - 福祉国家論（景気対策・社会保障） → 大きな政府
- 1970～80年代：安定成長時代
 - 新自由主義（民間活力・財政再建） → 小さな政府
- 1990年代～ 格差・排除 → 市場と政府の役割分担
 - “New Public Management”（新行政経営）

Trust ?



Public Affairs / Public Policy / Public Studies

Policy Analysis: 望ましい政策とは何か？

Policy Process: 望ましい政策をどのように実現するのか

- 社会科学には、法学、政治学、経営学、社会学 etc.
 - 人々のより幸せな暮らしを望む願いは共通
- 違いは、社会問題の分析方法
 - より詳しく調べるためにかかるメガネの種類が違う



法学



経済学



政治学



経営学

 経済学は方法論がグローバルに標準化

- 社会問題に対する高い説明力 → 他の分野への応用

歴史・文化人類学との融合
「制度論」

市場部門

社会学との融合
「ソーシャル・キャピタル」

地理学との融合
「経済地理学」

経済学

心理学との融合
「行動経済学」

政治学との融合
「公共選択論」

行政学・経営学
との融合

法学との融合
「法と経済学」

立法

↓
公共経営論

司法

行政

公共部門

新しい総合政策学

- 市場経済では解決不可能な問題の解決: 市場の失敗
- 公共部門を主体とした問題解決

経済政策の方法論

- 実証分析 「～である」: 市場経済の分析
- 規範分析 「～すべき」: 公共部門の役割

- 設定した目的を実現する手段

政策情報学への期待

- CBA: 費用-便益分析 → 便益測定の困難
- EBPM: データに基づいた政策立案

📌 市場と公共部門の役割分担

- 「コミュニティ」への概念の進化
- 「協働」・「共生」が可能な社会

新しい総合政策学への期待

Trust, Sustainability
の実現

 **I**nformation


情報技術の進化

Evidence

Based

Policy

Making

 **G**lobalism (空間的広がり)

世界が一つの共同体

 **S**ustainability

(時間的広がり)

世代を超えた

問題解決

 **T**rust

Stake Holder

CSR

Inclusion

義

判断力

勇

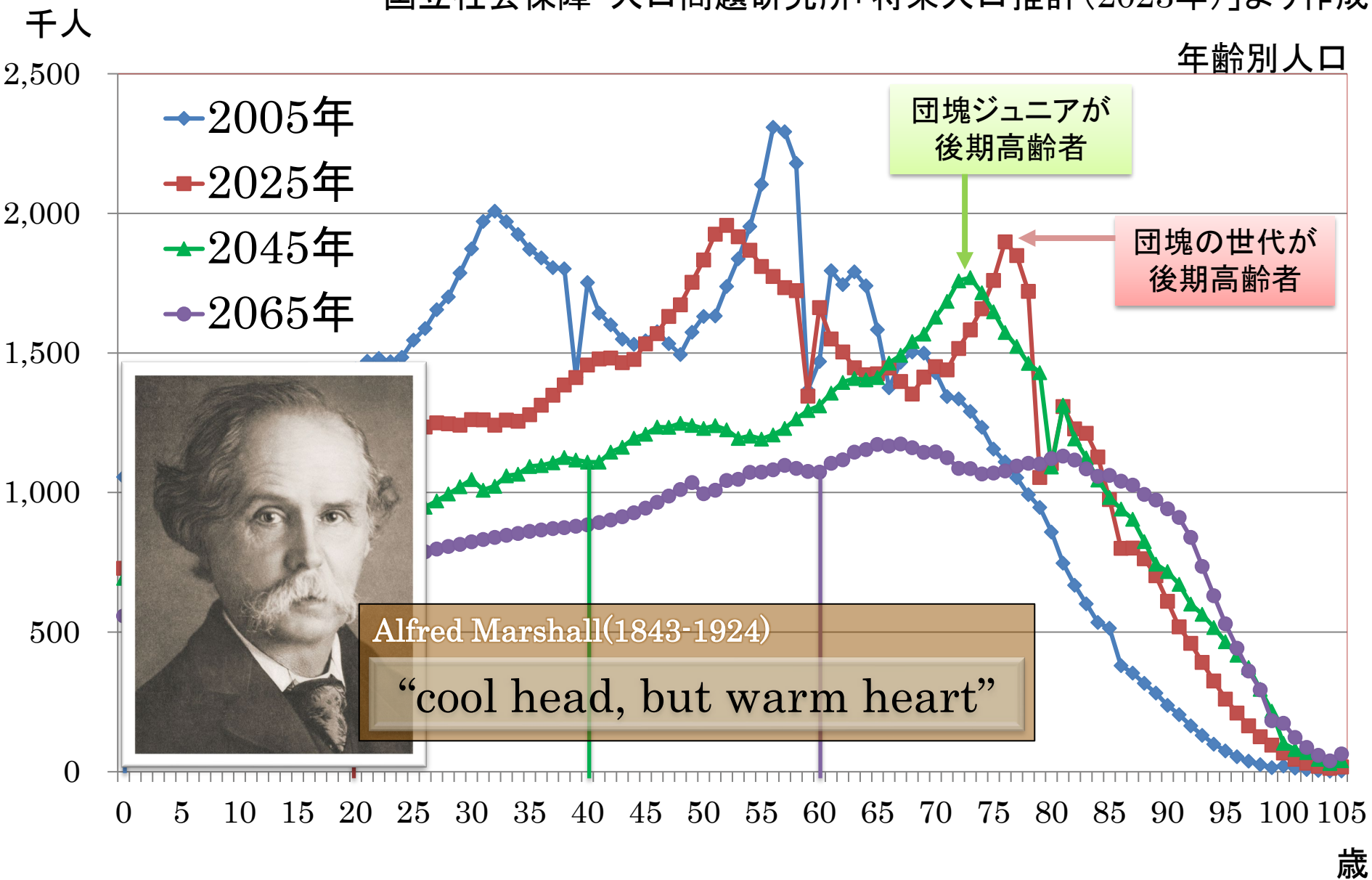
実現力

仁

思いやり・配慮

「未来からの留学生」へ

国立社会保障・人口問題研究所「将来人口推計(2023年)」より作成



CUC公開講座「新しい総合政策学を考える」

総合政策学への期待

－ 経済と政策情報の相乗効果 －

ご清聴有難うございました